



学校だより

鯛ノ巣

●学校スローガン

夢キラリ笑顔ひろがる阿井小学校

あいさつ 一生懸命 あいじょう

島根県仁多郡奥出雲町立阿井小学校 令和4年10月号 10月21日発行

夢をもって 夢を育む

今年度の阿井小学校のスローガンは、「夢キラリ笑顔ひろがる阿井小学校」です。夢をもって毎日の生活を送ってほしいという願いの中で、このようなスローガンにしています。2学期は自分の夢、友達の夢をお互いに応援し合おうという思いのもと、職員室前の夢ボードに一人一人の夢を掲示し、みんなで見合う取組をすすめています。十人十色という言葉のように、63名の児童の夢は一人一人違います。一人一人が素敵な夢を描いています。



子どもたちの夢には、将来になりたい職業の他にも、今、目指していることややりたい自分の姿を表現しているものもあります。この時期に夢を決め込む必要はなく、今の夢が明日には変わってしまうことも問題ありません。大切にしたいことは、夢に向かって小さな努力を重ねること、自分自身を認め、がんばっている自分を好きになることだと思っています。だれよりも一番の応援団は自分自身。そんな気持ちをもってほしいと思います。

アメリカのメジャーリーグで活躍している大谷選手が、高校1年時に「ドラ1・8球団」(プロ野球のドラフトで1位指名を8球団から受ける)という目標を立て、目標達成のためのマンダラシートに目標を書き込んでいたことは有名な話です。大谷選手は自分の夢を実現するために、いくつかの達成目標を考え、地道に努力を積み重ねたそうです。努力を積み重ねれば必ず願いが叶うわけではなく、大谷選手のように願いが叶う人はほんのわずかかもしれません。しかし、夢を実現しようという思いを強くもちながら、一生懸命に努力することで人間として大きく成長できると思います。ご家族の皆さんは、お子さんがどのような夢を持っているのかご存じでしょうか。ご家族の皆さんが、一緒に夢を語り合えるような時間が過ごせれば最高ですね。

秋の阿井路を颯爽と走る



秋季ロードレース大会を10月14日に行いました。この日に向けて、業間マラソンで練習を積んできました。中には下校時に走って帰ったり、帰宅後に家の周りを走ったりしながら目標をもって練習に取り組んだ子どもも何人もいました。主体的に練習を積んできた児童を始め、多くの児童が自己新記録をぬりかえる結果となりました。走ることは楽しいことばかりではありませんが、自分に打ち克つ強い体と心をつくることにもつながります。

これからもさらなる目標をもって、体力づくりに励んでほしいと思います。沿道にはたくさんの保護者・ご家族、地域の皆さん、阿井幼稚園の皆さんに応援をいただきました。たいへんありがとうございました。

連合宿泊研修(5年)

10月11日・12日の2日間、5年生は仁多地域の他校の子どもたちと一緒に、三瓶青少年交流の家で宿泊研修を行いました。宿泊を伴う連合での研修は令和元年度以来となります。

初めて出会う子どもも多く、最初のうちは不安そうな表情の人も多かったですが、様々な活動プログラムを行う中で、あっという間に仲よくなりました。キャンドルサービスの集い、野外炊飯など、普段の学校生活ではできない体験をたくさんすることができ、仲間との絆を深め、思い出をたっぷりとつくることができた2日間になりました。



行事予定

- 22日(土) 遠足・登山
- 24日(月) 振替休業日
- 28日(金) 遠足・登山予備日
- 3日(木) 文化の日
- 9日(水) 委員会
- 11日(金) 学習発表会(校内発表)
- 12日(土) 学習発表会(家族発表)
- 14日(月) 振替休業日
- 15日(火) スクールカウンセラー来校日
- 16日(水) Jアラート情報伝達試験
全校集会 クラブ
- 17・18日(木・金) 修学旅行
- 22日(火) 家でもぐんぐん
チャレンジシート
- 23日(水) 勤労感謝の日
- 24日(木) スピーチ集会(1・3・5年)
- 25日(金) 食の学習 5年

- 12月
- 1・2日(木・金) たたら体験学習(6年)
- 6日(火) 県学力調査(5・6年)



阿井小学校の特別支援教育

多様な学びの場

一人一人が生きる

目が変わるとメガネやコンタクトレンズを使いますね。高齢になり歩行が困難になる場合は、杖を使ったり、補助車を使ったりします。一人一人が、安心して社会生活を送ることができるように、垣根を低くする何らかの道具、施設、場が用意されています。学校の中でも同じように、一人一人が最高のパフォーマンスを発揮できるように個々に応じた教育の場を模索しています。障がいがあるなしにかかわらず、一人一人が自分らしさを存分に発揮し、ひかり輝くような学校生活を送ることができるように支援をしていきたいと思ひます。本紙面では、本校が進めている特別支援教育を紹介しします。

通級による指導 「通級指導教室」

通級指導教室をご存知でしょうか。何らかの障がいがある児童生徒の中で通常の学級での学習におおむね参加できる人を対象にして、それぞれが学習上または生活上の困難を改善したり、課題を克服したりすることをねらいとして通級指導教室が設けられています。

奥出雲町では、三成小学校、横田中学校が通級指導教室設置校になっており、担当教員が学びを必要とする子どもたちの学習をサポートしています。阿井小の場合は、設置校に通って指導を受ける(他校通級)場合と、設置校の担当者が児童が在籍する学校で指導する「巡回による指導」の2つの形態があります。週に1時間ほどの限られた時間ですが、一人一人に応じたきめ細やかな学習が進められています。

なお、島根県では、高等学校においても通級指導教室が近年整備され、今年度から全ての地域において拠点校が設けられるようになりました。通級指導教室での指導を継続することで学習意欲の向上や自己肯定感の向上につながることを期待されています。

教室の中で進める特別支援

学級の中でも様々な工夫を取り入れることで、学習に対する意欲を高めたり、学習内容を理解しやすくなったりすることがあります。すべての児童が生き生きと学習に参加し、すべての児童が分かったという実感がもてる授業。本校では、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりを心がけています。

- 時間の構造化・・・1時間の学習の流れを視覚的に表します。計画的に学習を進めることで、児童も見通しをもって授業に臨むことができます。
- 板書の構造化・・・学習のねらいや学習のまとめを黒板に構造的に示し、1時間の学習が一目でわかるようにします。黒板のチョークの色を見やすいものにするのも工夫の一つです。
- 学習が終わった後は、どのような学びがあったのか、声に出してみんなで共有し合ったり、ノートにまとめたりします。
- ブックPCなどのICT機器を使って、より主体的に活動ができるようにします。
- 授業に子どもたちが集中できるようにするため、教室の環境を整え、教室の前面をできるだけすっきりさせることなどにも気をつけ

保護者との対話を大切にしています

一人一人にあった学びの場をどのようにデザインしていったらよいのか。学校が一方的に決めるのではなく、保護者の思いや子どもの気持ちを尊重し、場合によっては、専門の関係機関とも連携を密にしながらすすめていきます。個別のプログラムでの学びを始めた場合でも、実践を振り返りながら修正を加えます。

保護者の皆様におかれましては、日頃の子育ての悩みや本人の学習場面での戸惑い等ありましたら、どうかお気軽に学校までお声がけください。一緒に子どもさんの成長の後押しを考えていきたいと思ひます。

特別支援学級での学び

特別支援学級(こばと学級)では、教育課程の中に、生活単元学習や自立活動の時間などを取り入れています。生活単元学習(のびっこタイム)は、各教科等を合わせた指導を取り入れ、日常生活に即した学習をすることによって体験的に知識や技能を習得するものです。また自立活動の時間(こばとタイム)では、通級指導教室の項で述べたように一人一人の障がいによる学習上生活上の困難を改善・克服することをねらいとしています。「コミュニケーション」「健康の保持」など6つの区分があり、一人一人に応じて計画的・重点的に取り組んでいます。

学校の中の活動だけではなく、奥出雲町内の他校の特別支援学級児童生徒とのかわりの場も年間数回あります。それぞれの子どもが自分の役割を各学級で決め、全力で準備し、本番の出会いの場に向かいます。自分の役割を責任をもって務める中で、自己肯定感や成就感を培っています。



秋深まる



小学校の敷地の中で毎年できるアケビ

三瓶で見つけた花るアケビ

